

セミナー参加報告

森林研究・整備機構 森林総合研究所ダイバーシティ推進室のセミナー参加報告記事をご紹介します。

■日本森林学会・日本木材学会合同大会 男女共同参画学会企画 二学会におけるダイバーシティ推進の取り組みとこれから ～Withコロナ時代の学会に求められること～

【日時】 2021年3月24日（水） 13：00-15：30

【場所】 オンライン開催（Zoom 使用）

【共催】 日本森林学会ダイバーシティ推進委員会・日本木材学会ダイバーシティ推進委員会

【後援】 男女共同参画学協会連絡会

本セッションでは、日本森林学会および日本木材学会における今後のダイバーシティ推進活動を促進させることを目的として、両学会それぞれが取り組んできたダイバーシティ推進活動の情報を共有し、Withコロナ時代に学会に求められる役割について議論しました。

まず初めに両学会からそれぞれダイバーシティ推進に関わる講演があり、続いて男女共同参画学協会連絡会が実施した『コロナ禍の研究者アンケート』の追跡調査結果が報告されました。

セッションの後半では講演者、報告者をはじめとする6名により、学会の果たすべき役割等についてパネルディスカッションが行われました。なお、詳細については森林総研ダイバーシティ推進室のウェブサイト（下記）をご覧ください。

https://www.ffpri.affrc.go.jp/geneg/chishi/iki/outside_sympto_archives/sankahoukou/2020sankahoukou/210324shinrinmokuzaigakkai_sympto.html



日本森林学会・日本木材学会合同大会 男女共同参画学会企画

二学会における ダイバーシティ推進の 取り組みとこれから

～Withコロナ時代の学会に求められること～





3月24日(水)

13:00～15:00

オンライン開催

配信URLは森林学会・木材学会
大会ウェブサイトでご覧いただけます。

申込不要
参加無料

※同日開催「聞いてみたい！女性研究者によるフィールドワーク&ライブイベント」
16:00～17:30 事前申込/定員20名
詳細は森林学会ウェブサイトをご覧ください！

プログラム

- 13：00～13：05 開会挨拶・趣旨説明 玉井幸治（森林学会総務担当理事/
ダイバーシティ推進委員/森林総合研究所）
- 13：05～13：20 講演 1
「ジェンダーギャップを減らすための社会参画教育」
黒田慶子（森林学会理事/神戸大学）
- 13：20～13：35 講演 2
「木材学会におけるダイバーシティの未来」
藤澤秀次（木材学会ダイバーシティ推進委員/東工大）
- 13：35～14：15 『コロナ禍の研究者アンケート』追跡調査報告
報告 1 学協会全体の結果・木材学会の追跡調査結果の報告
中山榮子（木材学会ダイバーシティ推進委員長/昭和女子大）
報告 2 森林学会の追跡調査結果の報告・今後の展望
高山範理（森林学会ダイバーシティ推進委員長/森林総合研究所）
- 14：15～14：55 パネルディスカッション
テーマ：Withコロナ時代の学会に求められることは？
司会：杉山淳司（木材学会ダイバーシティ推進委員/京大）
パネラー：木材学会 中山榮子・藤澤秀次
森林学会 黒田慶子・高山範理・木村 恵（森林学会ダイバーシティ推進委員/
森林総合研究所 林木育種センター）
- 14：55～15：00 閉会挨拶 鮫島正浩（木材学会ダイバーシティ推進委員/信州大）








共催：日本森林学会ダイバーシティ推進委員会・日本木材学会ダイバーシティ推進委員会
後援：男女共同参画学協会連絡会

コラム 新型コロナ禍で広がる研究者の男女格差

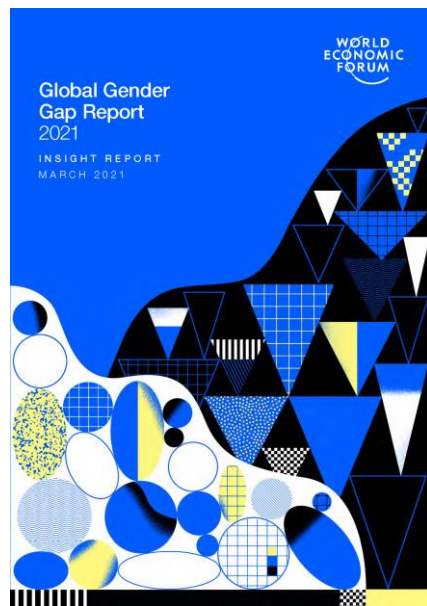
新型コロナウイルス変異株の感染が拡大しつつあり、先の見えない状況が長期化しています。また、昨年のように在宅勤務・自宅待機を余儀されなくなることに不安を抱えている方も多いのではないのでしょうか。そこで、今回のニュースレターでは新型コロナ禍の影響で研究者における男女格差が広がっていることにフォーカスした記事を掲載いたします。

2021年3月に世界経済フォーラムが発表した「グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート2021」によれば、新型コロナウイルスの影響により、世界的なジェンダーギャップの解消にかかる時間は99.5年から135.6年へと35年以上も増えたという予測結果が報告されました（文献1）。男女格差の程度を示すジェンダーギャップ指数における日本の順位は対象国156カ国中120位で、G7諸国の中で最下位と低迷しています。また、新型コロナウイルスに関連して、世界全体で女性が男性より高い割合で仕事を失っていることも指摘されています。これらは職種に無関係な傾向ですが、研究者の世界ではどのような影響があるのでしょうか。

2020年5月28日のNature誌では、新型コロナ感染拡大に伴う、科学論文のプレプリント（査読を通過する前の論文）数の変化を解析した結果を紹介しています（文献2）。この記事では、物理系（arXiv）と生物系（bioRxiv）のプレプリントサーバを対象にした調査を行った結果、男女とも2019年3-4月より2020年3-4月のプレプリント数が増えましたが、その増加率は男性に比べて女性の方が低いことが報告されています。これら男女格差の拡大の理由として、在宅勤務・休校措置に伴い、家事と子供のケア活動により多くの時間が割かれるようになりましたが、その時間は男性より女性に偏っていることが指摘されています。また、2021年3月3日のNature誌では、この論文数の減少が研究業績評価における男女格差につながる可能性を指摘し、公平な評価を呼びかけています（文献3）。

日本では、2020年に男女共同参画学協会連絡会が「緊急事態宣言による在宅勤務中の科学者・技術者の実態調査」を研究者・技術者のアンケート調査（回答者11,112人）により実施しました（文献4）。その結果、緊急事態宣言によるさまざまな制限から、回答者の約8割が今後の研究や教育に不安を抱いていることが報告され、移動制限により屋外調査ができない等の「実験や調査の内容・質」に関わる不安が大きいことと、任期・契約期間付き職や学生は不安が顕著に大きいことが指摘されました。男女格差に関連することでは、緊急事態宣言により

（次頁へ続く）



WEF_Global Gender Gap Report 2021

(前頁からの続き)

家事・育児の負担が増え、それが勤務の支障となっていると答えた人は女性に多かったことが報告されました。このことから、日本でも研究者の男女格差が広がっていると考えられます。

世界経済フォーラムは、保育や介護など福祉事業分野へのさらなる投資や、育児や介護で男女が均等に休みを取得できるようにすること、女性のキャリア再教育や男女で偏りのない雇用と昇進を行うことなどを各国に求めています(文献1)。また、日本の男女共同参画学協会連絡会は、任期・契約期限付き職の任期期間延長、学生や帰国を余儀なくされた者への雇用支援、在宅勤務の拡充、職場における各種手続きのオンライン化、女性の家事・育児の負担増を解消するような意識変革の働きかけなどを国や研究機関に求めていくとしています(文献4)。

世界経済フォーラムの取締役であるサーディア・ザヒディ氏は、「グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート2021」のプレスリリース(文献5)において、何年もかけて進めてきた男女平等が新型コロナウイルスの影響によって一気に後退してしまうことを強く懸念しています。さらには、単に世界をパンデミック以前の状態に戻すのではなく、パンデミックからの復興過程そのものにジェンダー公正を組み込む意義を訴えています。パンデミックによって世界的に打撃を受けた今こそ、真に男女平等を実現する好機とすべきなのです。

農研機構人事部ダイバーシティ推進室 池田浩明

引用文献：

1. World Economic Forum (2021) The Global Gender Gap Report 2021.
(<https://www.weforum.org/reports/global-gender-gap-report-2021>)
2. Viglione, G. (2020) Are women publishing less during the pandemic? Here's what the data say. Nature, 581, 365-366.
(<https://www.nature.com/articles/d41586-020-01294-9>)
3. Nature Editorial (2021) COVID is amplifying the inadequacy of research-evaluation processes. Nature, 591, 7.
(<https://www.nature.com/articles/d41586-021-00527-9>)
4. 男女共同参画学協会連絡会 (2020) 緊急事態宣言による在宅勤務中の科学者・技術者の実態調査結果報告。
(https://www.djrenrakukai.org/doc_pdf/2020/survey_covid-19/index.html)
5. World Economic Forum (2021) Pandemic pushes back gender parity by a generation, Report finds. News Releases on 31 March 2021.
(<https://www.weforum.org/press/2021/03/pandemic-pushes-back-gender-parity-by-a-generation-report-finds>)
(日本語版<https://jp.weforum.org/press/2021/03/jp-another-generation-lost-world-must-wait-135-years-for-gender-parity/>)

■ ■ ■ ニュースレターへ記事をご投稿ください! ■ ■ ■

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして原則毎月最終週に発行しております。

掲載を希望する記事がありましたら、数行の記事でも結構ですのでぜひお寄せください。

ニュースレターには以下のような記事を掲載しています。

- 今後開催されるシンポジウムやセミナー、講演会など、イベントのお知らせ
- 最近行われたイベント報告、あるいは参加報告
- 最近取組中のこと
- その他、お役立ちや関連情報

記事の宛先：DSO事務局（農研機構） f-support@ml.affrc.go.jp